

12/25 郡司

文通費 維新は「隠より始めよ」

無職

(岩手県 65)

国会議員が受け取る月額100万円の文書通信交通滞在費（文通費）を巡り、「日割り支給にすべきだ」「領収書をつけて使途を明らかにするべきだ」といった論議が盛んだ。この問題に関連して、日本維新的会副代表の吉村洋文・大阪府知事がツイッターで「領収書の不要な文通費を現行のまま維持するのは、税金に群がるシロアリのよくなものだ」という趣旨の発言をしたそうだ。

この場面だけを見ると、維新は既得権益を打破しようとする勢力に見え、快哉を叫ぶ國民も多いため。

しかし、維新の議員たちは文通費の大半を政党支部や自らの資金管理団体に繰り入れている。つまりいふと、領収書は存在しても「セルフ領収書」に過ぎず、使途は依然として不明だ。そして吉村氏は大阪市長選へ立候補するため、2015年10月1日付で衆院議員を辞職。在職1日で文通費100万円を受領しているが、使途はまだ公開されていない。

10月31日の衆院選で当選した維新の議員は文通費を全額寄付するという。その寄付先はよもや党本部や支部ではあるまい。本派で「改革」を得られるなら、眞の透明性こそ維新に求めたい。あくまで隠より始めよだ。